

バングラデシュ北東部ハオール地域気候変動適応化農業普及プロジェクト

活動地域



初めての乾期野菜栽培の様子

課題

気候変動により不安定になっている自然災害(フラッシュフラッド・冷害)に対する農業支援(新品種の導入と作付け体系の見直し)。

目標

ハオール域で気候変動適応型農業(新品種の導入・作付け体系の見直し)が実証され普及する。



今後の展望

これまで以上に農業行政との連携を強化し、国際稻研究所(IRRI)をはじめとする国際機関や日本の行政との連携を模索。ローカルNGOとのネットワークの構築。

ひろげる助成

2年目

実践

水路の掘削と農道整備

300m

種糲の買い付けと保管

0.32トン

今年度計画の達成度

50%

目標達成度

65%

活動内容と成果

災害に強い新品種米の導入と年間を通じた作付け体系の見直しにより、災害の多いハオール地域の農民のレジリエンスを高める活動。

本年度は国立稻作研究所(BRRI)から無償で新品種種子を配布とともに栽培方法を研修。あわせて乾期の灌漑と農作物搬送のための農道建設を行った。結果、雨期の稻作ができることを実証し、乾期野菜栽培も始めることができた。また乾期稻作ではかなりの収穫増が見込まれている。

また活動は複数のメディアで取り上げられ、農業大臣も視察に訪問した。



国立稻作研究所から新品種稻の配布

苦労した点と工夫した点

苦労した点

新型コロナウイルス蔓延による人件費・交通費の高騰、農民からの種もみの買い付けが困難であったこと。

工夫した点

モバイルフォンの活用や早朝の訪問などで農民とのつながりを維持した。



House #5422, Rajnagar South,
Judge Bari Road, Rajnagar R/A,
Habigonj, Bangladesh
電話 : +88 0831 63951
E-mail : asedb.org@gmail.com
HP : www.asedb.org